

深谷市議会

「議会改革」

議会の責任、より重大に!

地方自治法の一部を改正する法律が昨年5月公布され、議会に関する事項として

- 1. 議員定数の上限数の制限の廃止に関する事項
(人口段階別の上限数制限が廃止となり定数制限について各議会で自ら決定する)
2. 議決事件の範囲の拡大に関する事項
(法定受託事務に係る事件についても、条例で議会の議決事件として定めることができる)
3. 行政機関等の共同設置に関する事項
(大学や弁護士等の専門的知見を持つ人材を複数の議会と共同で置くことができる)

等の改革が断行されました。従って、議員の定数や議会の議決案件についても、各地方自治体自らの責任において決定することができるようになり、議会の責任がますます重要となりました。地方分権時代にふさわしい議会への挑戦として、議会改革に真剣に取り組んでまいります。

「議会改革」現在、審議中の論点

●議決案件の拡大

二元代表制における議会として、各種審議会から議員参加をとりやめた経緯から、議決案件拡大を図るべく議論を継続している。

●予算決算常任委員会について

決算は現在特別委員会を設置し事務事業評価表をも審議の対象とする改革を図った。さて、最重要案件である予算の審査をどう改善すれば、より議論を深めることが出来るのか。決算・予算との連動性、分割付託の問題の解消、全員参加型を論点として、現在、予算決算常任委員会を設置し、補正予算審査も含め、通年として審査出来る体制づくりが望ましいのではないかとの意見提案をベースに議論して向で議論をしている。

議案に対する賛否の公開

第2次答申

議会改革委員会にて議論がまとまり、平成23年11月24日議長に対し、第2次答申を提出しました。

これまでは、各議員の議案の賛否については非公開でした。議決に対し責任を持つという観点から、市議会だよりや議会ホームページで公表するなど、情報公開を積極的に行います。



お知らせ

今村三治議員より、平成23年12月1日付け、議長あてに議員辞職願が提出され、議会では12月2日の本会議で審議し、辞職を許可することに決まりました。これにより、現在議員は25名となりました。

人事案件

埼玉県都市競艇組合議員に 田島 信吉

埼玉県都市競艇組合議員の任期が平成23年12月31日をもって満了となったため、選挙の結果、田島信吉氏が同議員に当選しました。

人権擁護委員に

吉田 文一
柴崎 幸子

北村美代子氏、吉田文一氏の任期が平成24年3月31日に満了となるため、引き続き吉田文一氏と、新たに柴崎幸子氏を推薦することに異議ない旨回答しました。

請願の審査結果

請願第4号 (不採択)
「非核三原則」の法制について国への意見書提出を求める請願書

請願第5号 (不採択)
埼玉県原爆被害者協議会会長 田中 熙巳

請願第6号 (不採択)
消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める請願

請願第7号 (不採択)
無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3・3万円の支給を求める請願

請願第8号 (継続審査)
年金受給資格期間10年への短縮を求める請願

請願第9号 (不採択)
0・4%の年金引き下げを元に戻すとともに、物価指数による年金引き下げを行わないことを求める請願

請願第5号、9号の提出者
深谷市常盤町75-4

全日本年金者組合埼玉本部
深谷支部長 中島 照久

12月定例会 議案に対する各議員の賛否

Table with columns for 議員名 (議員名), 議案名 (議案名), and 審議結果 (審議結果). Rows include various municipal council proposals like '深谷市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例' and '深谷市立たんぼぼ作業所'.

※会派名は、深クは深谷クラブ、志民は深谷志民の会、共産は日本共産党、彩新は彩新連合です。※議長は同数のみ採決に参加します。(○は賛成、×は反対)